

- 問1 中国では1950年代以降、人口が急激に増加し、食料供給や生活水準の向上を妨げる要因となりました。この人口爆発を抑制するため、1979年頃から一組の夫婦に子どもを一人に限ることを基本として導入された政策は何ですか。(2017年 群馬県公立入試 類似)
1. 一人っ子政策
 2. 人口分散政策
 3. 家族計画法
 4. 多子化奨励政策
- 問2 ある国の経済指標を確認したところ、一人当たりの国民総所得が約1,600ドルと比較的低く、産業別人口構成において第1次産業従事者の割合が60%を超えていることが分かった。このデータが示す国として最も適切なものを選びなさい。(2017年 北海道公立入試 類似)
1. モンゴル
 2. タイ
 3. イギリス
 4. アメリカ
- 問3 アラブ首長国連邦のドバイなどが、豊富な石油資源を保有しながらも、巨額の資金を投じて観光開発や国際的な金融機能の整備、自由貿易港の拡充を積極的に進めている理由として、最も適切な説明を選びなさい。(2026年 京都府公立入試 類似)
1. 将来的な石油資源の枯渇や世界的な脱炭素化の動きを見据え、石油に依存しすぎない持続可能な経済構造へと多角化するため。
 2. 砂漠地帯での農業生産を最大化し、西アジア全域へ食料を輸出する農業大国としての地位を確立することを主目的としているため。
 3. 南アメリカのリマやヨーロッパのフランクフルトとの間で、重化学工業の生産量による経済同盟を強化するため。
 4. 周辺諸国との軍事的な緊張を高めることで、自国の軍事産業を世界の規模に成長させるための資金を得るため。
- 問4 アジア州において、米や茶、天然ゴムといった特定の農産物の生産割合が世界全体の過半数を超え、圧倒的なシェアを誇っている主な要因について、自然環境の観点から説明したものととして適切なものはどれですか。(2025年 秋田公立入試 類似)
1. 季節風(モンスーン)の影響により、夏に高温多湿となる地域が広く分布しているため
 2. 広大な乾燥帯が広がり、日照時間が極めて長く灌漑農業に適しているため
 3. 偏西風と暖流の影響により、年間を通じて温暖で降水量が一定であるため
 4. 永久凍土が広がる寒冷な気候により、病害虫の発生が抑えられているため
- 問5 米の生産量が小麦を大幅に上回り、北東部では茶の栽培も行われているタイの食文化について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。(2024年 東京都公立入試 類似)
1. 米を主食としており、鶏肉や野菜とともに米を炊き込んだ料理や、米粉から作られた麺などが広く親しまれている。
 2. トウモロコシを主食としており、粉状に挽いて薄く焼き上げたトルテイヤというパンのような料理が日常的に食べられている。
 3. 小麦を主食としており、パスタやピザなどの粉製品が中心で、地中海沿岸の食材を多用する傾向がある。
 4. イモ類やライ麦を主食としており、寒冷な気候でも育つ作物を中心に、乳製品を組み合わせた食事が一般的である。
- 問6 東南アジア諸国連合(ASEAN)が域内の経済成長を促すために行っている取り組みや、その特徴について正しく述べているものはどれですか。(2026年 青森公立入試 類似)
1. 域内の関税を原則として撤廃することで、貿易を活発にし、国際的な競争力を高めようとしている。
 2. 加盟国全体で共通の通貨を導入し、域内の金融政策を一つの銀行に統合している。
 3. 日本や中国、アメリカといった太平洋を取り囲む多くの国々を含めた自由貿易圏を構築している。
 4. 食料自給率の向上を唯一の目的として、加盟国間の農産物の輸出入を制限している。
- 問7 東南アジアの大陸部と島嶼部の特徴を整理した際、ベトナムやタイなどが位置する「インドシナ半島」の説明として、最も適切な記述を選択してください。(2021年 福島県公立入試 類似)
1. 中国の南側に位置する広大な半島で、メコン川などの大河が流れ、古くから稲作が盛んに行われてきた地域である。
 2. 大陸部からさらに南へ細長く突き出した半島で、マレーシアやタイの一部が含まれる地域である。
 3. ユーラシア大陸の西端に位置し、地中海に囲まれた温暖な気候が特徴の地域である。
 4. 北アメリカ大陸の北東に位置する世界最大の島で、大部分が氷に覆われている地域である。
- 問8 東南アジア諸国が急速な経済成長を遂げた手法である「外国企業の進出と工業化」に関連して、マレーシアで見られた変化の事例として正しいものはどれですか。(2026年 青森公立入試 類似)
1. かつては石油や天然ゴムなどの輸出が中心だったが、近年は機械類の輸出が全体の4割を超えるまでになった。
 2. 外国企業の工場建設を禁止したことで、国内の零細な製造業がすべて巨大な国営企業へと統合された。
 3. 農業への特化を政策の柱とした結果、工業製品の輸出を完全に取りやめ、天然ゴムの輸出単価を上昇させた。
 4. 日本企業の撤退を促すことで、国内市場を地元企業だけで独占し、輸入に頼らない経済体制を確立した。
- 問9 東南アジアの島国であるフィリピンでは、国民の約8割から9割がキリスト教(カトリック)を信仰しており、周辺のイスラム教や仏教を信仰する国々とは異なる特徴を持っています。フィリピンでこのようにキリスト教が広く普及した歴史的な背景として、16世紀にこの地域を植民地として支配し、布教とともに貿易の拠点を置いた国はどこですか。(2022年 岡山公立入試 類似)
1. スペイン
 2. アメリカ合衆国
 3. インド
 4. エジプト
- 問10 ある国における宗教と貿易の統計を確認すると、人口の約97.5%がイスラム教を信仰しています。また、輸出額を比較すると日本向けが6(単位:100億円)であるのに対し、EU(ヨーロッパ連合)向けが683となっており、輸入額も日本からの31に対してEUからは775と、極めて大きな差があります。このような貿易構造を持つ、アジアとヨーロッパの架け橋とも呼ばれる国はどこですか。(2019年 和歌山公立入試 類似)
1. トルコ
 2. インドネシア
 3. パキスタン
 4. エジプト
- 問11 乗用車の生産体制について、日本と、新興国であるインドやブラジルの状況を比較した説明として最も適切なものはどれですか。2016年の統計資料によると、日本の生産上位5社はすべて自国(日本系)企業で占められていますが、インドやブラジルにはこれとは異なる特徴が見られます。(2019年 群馬県公立入試 類似)
1. インドやブラジルでは、日本系、韓国系、ドイツ系などの外国資本の企業による生産の割合が高い。
 2. インドやブラジルでは、自国の産業を保護するため、自国メーカーのみで生産を行っている。
 3. インドでは、上位5社のほとんどをアメリカやイタリアなどの欧州企業のみが占めている。
 4. ブラジルでは、日本系企業が進出しておらず、自国企業と韓国系企業のみで生産が行われている。
- 問12 東南アジアの国々の中で、かつてスペインによる植民地支配を受けた歴史的な背景から、国民の多くがカトリックを中心とするキリスト教を信仰している国はどこか。(2018年 北海道公立入試 類似)
1. フィリピン
 2. インドネシア
 3. タイ
 4. ベトナム

答え合わせ・解説

問1	答え 1 一人っ子政策	中国では1949年の建国以降、公衆衛生の改善などにより人口が急増しました。これによる食料不足や資源の枯渇を懸念した政府が、1979年から法的・行政的な手段を用いて人口増加を強力に抑制するために導入した仕組みです。現在は、この政策がもたらした少子高齢化への対応として、子どもの数に関する制限は緩和・撤廃されています。
問2	答え 1 モンゴル	第1次産業従事者の割合が60%を超えているという数値は、遊牧による畜産業が主要な産業であるモンゴルの典型的な特徴を示している。タイは近年工業化が進んでおり（「アジアのデトロイト」などと呼ばれる）、第1次産業の割合はモンゴルほど高くはない。また、イギリスやアメリカのような先進国では、第3次産業に従事する人の割合が圧倒的に高く、第1次産業の割合は極めて低い。
問3	答え 1 将来的な石油資源の枯渇や世界的な脱炭素化の動きを見据え、石油に依存しすぎない持続可能な経済構造へと多角化するため。	西アジアの産油国は、石油資源が有限であることや、地球温暖化対策としての「脱炭素」により将来的に石油需要が減るリスクを認識しています。そのため、ドバイなどは早い段階から「脱石油」を掲げ、観光、物流、金融などのサービス業を育成することで、資源価格の変動に左右されない安定した経済基盤を築こうとしています。
問4	答え 1 季節風（モンスーン）の影響により、夏に高温多湿となる地域が広く分布しているため	アジア州、特に東アジア・東南アジア・南アジアでは、季節風の影響で夏に大量の降水があります。この気候特性は、生育期に高温と多量の水を必要とする米の栽培に最適です。また、天然ゴムは東南アジアの熱帯気候を、茶は温暖な傾斜地を利用して生産されており、それぞれの地域の自然条件を活かした産業構造が、世界的な高い生産シェアの背景にあります。
問5	答え 1 米を主食としており、鶏肉や野菜とともに米を炊き込んだ料理や、米粉から作られた麺などが広く親しまれている。	タイは世界有数の米輸出国でもあり、食生活においても米が中心的な役割を果たしています。代表的な料理である「カオマンガイ（鶏肉の炊き込みご飯）」や、米粉を原料とした麺料理である「パッタイ」などは、現地の農業生産の特色を強く反映した食文化の具体例です。
問6	答え 1 域内の関税を原則として撤廃することで、貿易を活発にし、国際的な競争力を高めようとしている。	ASEAN自由貿易地域（AFTA）などを通じて、加盟国間での関税を取り払い、一つの大きな市場として経済を活性化させる動きが進んでいます。共通通貨の導入は欧州連合（EU）の特徴であり、太平洋を取り囲む広域的な枠組みはアジア太平洋経済協力（APEC）などが該当するため、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 1 中国の南側に位置する広大な半島で、メコン川などの大河が流れ、古くから稲作が盛んに行われてきた地域である。	インドシナ半島は東南アジアの大陸部に位置し、メコン川やチャオプラヤ川といった大河の周辺に広がる平野部を利用して稲作が発展してきました。マレーシアの一部が含まれるのは、インドシナ半島からさらに南に伸びるマレー半島であるため混同に注意が必要です。
問8	答え 1 かつては石油や天然ゴムなどの輸出が中心だったが、近年は機械類の輸出が全体の4割を超えるまでになった。	マレーシアは1980年代以降、外資を導入して工業化を推し進める政策（ルックイースト政策など）をとりました。この結果、かつてのモノカルチャー経済（特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済）から脱却し、現在では電気機器や輸送機械などの工業製品が輸出の主力となっています。
問9	答え 1 スペイン	フィリピンは16世紀、世界周航の途上にあったマゼランの来航をきっかけにスペインの植民地となりました。当時のスペインはキリスト教の布教を植民地政策の柱の一つとしていたため、長い統治期間を通じてフィリピンにキリスト教が定着しました。なお、19世紀末からはアメリカ合衆国が統治しますが、宗教的な基礎を築いたのはスペインです。
問10	答え 1 トルコ	トルコは地理的にヨーロッパ連合（EU）の加盟国と隣接しており、1990年代からEUと関税同盟を結ぶなど経済的な統合を進めてきました。このため、統計上でも日本のような遠方の国より、EU諸国との輸出入額が圧倒的に多くなっています。選択肢にあるインドネシアもイスラム教徒が人口の約9割を占めますが、主な貿易相手は東アジアや東南アジアの国々であり、統計上の貿易バランスがトルコとは異なります。
問11	答え 1 インドやブラジルでは、日本系、韓国系、ドイツ系などの外国資本の企業による生産の割合が高い。	インドやブラジルといった新興国における工業化は、先進国の多国籍企業による直接投資や現地工場の設立によって進展してきた歴史があります。そのため、自国メーカーが中心となって生産を行う日本などの先進国とは異なり、外国資本の企業が生産シェアの多くを占めるという特徴があります。特にインドでは日本系や韓国系企業、ブラジルではドイツやアメリカ、イタリア、日本などの企業が生産上位に名を連ねています。
問12	答え 1 フィリピン	16世紀後半からスペインの植民地支配を受けた影響で、国民の多くがカトリックを信仰するようになりました。インドネシアは世界最大のイスラム人口を抱える国であり、タイは植民地にならず独立を維持した仏教国であるため、宗教分布の形成過程が異なります。